

“事業報告特集”

目次

□巻頭言 試練のとき	坂野重信	1
□協会の事業活動		
社団法人日本建設機械化協会定款		2
協会の事業について		3
各部会、専門部会、建設機械化研究所の動き		4
□部会研究報告		
建設機械整備用設備機器の耐用年数		
実態調査報告	整備技術部会 税制委員会	15
□昭和 49 年度官公庁の事業概要		
建設省の事業概要	谷 沢 義 広	19
日本道路公団の事業概要	高 橋 大 輔	26
首都高速道路公団の事業概要	川 上 潔	32
阪神高速道路公団の事業概要	北 村 正 也	37
本州四国連絡橋公団の事業概要	沖 中 浩 一郎	42
水資源開発公団の事業概要	伊集院 敏	45
日本住宅公団宅地開発事業の概要	吉 宗 一 哉	50
□随 想 とうもろこしからプラスチック	佐 野 文 彦	53
建設機械等損料改正の概要	建設省大臣官房 建設機械課	56
北陸自動車道黒崎～長岡間の土工計画	日 高 成 男	58
硬岩トンネルの掘削における機械化の現状	和 田 満 徳	63
新川河口排水機場施設の概要	高 木 義 雄 高 谷 内 光	71
グラビヤ——新川河口排水機場工事を見る		
□建設機械化講座 第 129 回		
現場フォアマンのための土木と施工法		
XVII. 建設機械概説		
13. 荷役機械(その2)	佐 藤 忠 雄	75
□建設機械化研究所抄報		
304. 小松 JV 16-1 形振動ローラ性能試験		82
305. CAT 931 形履帯式トラクタショベル性能試験		83
306. 森田 240 P 3 形高压洗浄車性能試験		85
□文献調査		
大口径排水管の現場打ち施工	広 報 部 会 文献調査委員会	87
最近の振動ローラ	広 報 部 会 文献調査委員会	88
□統 計		
建設工事受注額、建設機械受注額		
および建設機械卸売価格の推移	調 査 部 会	89
ニ ュ ー ズ	(編 集 部)	90
行 事 一 覧		90
編 集 後 記	(西 出・木下)	92

◀表紙写真説明▶

日立 MA 100 泥上作業車

日立建機株式会社

本機は昭和 48 年末に東京都の依頼により開発したもので、堅土、ヘドロ状軟弱地帯での走行ができ、また、水辺では浮航できる性能を有する機関出力 130 PS、重量約 13 t、接地圧 0.1 kg/cm² の水陸両用車である。走行は油圧モータによりスプロケットを直接駆動する油圧駆動方式なので無段変速ができ、また、スピンドラーもできるなど、運転が容易にできる。

本機は埋立地、干拓地、河川、沿岸部などでの資材運搬や測量用などに利用でき、また上回りにショベル、クレーン、基礎工事用機械などを搭載して建設工事用作業機としても利用できる。